令和７年度　第２回 飯田市産業振興審議会　議事録要旨

１．開催概要

日時：令和７年 10 月 21 日（火）　15 時 00 分～17 時 00 分

会場：飯田市勤労者福祉センター　３階 第３・４研修室

出席者：委員 21 名（名簿は末尾に記載）

２．会長あいさつ（要旨）

原会長より、第２回審議会の主旨について以下の通り述べられました。

(1)地域の使命

地域産業は極めて厳しい状況にあるが、単に厳しいと捉えるだけでなく、「どうすれば持続可能な地域・産業構造を築けるか」を考えることが本審議会の使命である。

(2)新たな産業育成

地域の特性を活かした新産業をどのように育成すべきか、グループワークを通じて各専門立場から建設的な提案をいただきたい。

３．課題提起

テーマ：人と人のつながり「結い」による関係人口創出と「いいだツーリズムビジョン」

（事務局：湯澤ツーリズム振興係長より説明）

飯田市が推進する新しい観光の形「関係人口」と「ツーリズム」の考え方について共有されました。

(1)関係人口の概念

①定義

観光以上・定住未満の、地域と継続的に関わりを持つ人々。

②背景

若者のライフスタイル変化や SNS の普及により、「面白い地域」や「自分の力が発揮できる場所」を求める都市住民が増加している。

③飯田の強み

飯田市には豊かな「ソーシャルキャピタル（社会関係資本)」があり、この人間関係の豊かさを求めて人が集まる傾向にある。

(2)飯田市の具体的取組

①空き家片付けプロジェクト（Airbnb 連携）

天龍峡の空き家を若者たちが片付けるプロジェクトを実施。４日間で約 160 名が参加し、地域住民との交流が生まれた。

②「いいだエアビースクール」の開校

移住者が講師となり、宿づくりなどを学ぶ場を提供。参加者は「自分を変えたい」「仲間と繋がりたい」という意欲を持って参加している。

③里山 LIFE アカデミー（JR 東海連携）

竹林整備、メンマ作りなどを年間通じて体験する商品。延べ 200 人の若者が自費で飯田を訪れ、交流を楽しんでいる。

(3)「いいだツーリズムビジョン」が目指すもの

①旅を通じた自己成長

単なる「消費」ではなく、学びやスキルの習得を伴う「旅」を提供することで、来訪者の意識を「もてなされる側」から、地域の役に立ちたいという「もてなす側」へと変えていく。

②境界線の解消

「観光」と「移住」の境界をなくし、１泊でもしてくれたら「住民」として迎え入れる。飯田のファンを増やし、継続的な関係性を築くことが地域経済の活力につながる。

４．産業分野別グループワーク

以下の６つの専門グループに分かれ、分野ごとの具体的な課題や、関係人口の視点を取り入れた振興策について活発な議論が行われました。

《農業分野、林業分野、商業分野、観光分野、製造分野、産業人材分野》

５．今後の日程

第３回産業振興審議会（全体会議）

日時：令和７年 11 月 17 日（月）15:00～17:00

会場：飯田市役所Ｃ棟３階 C311～C313

【出席委員名簿（敬称略・順不同）】

原委員（会長）、上野委員、塩澤委員、池上委員、木下委員、井口委員、山﨑委員、澤柳委員、赤羽委員、新井委員、高橋委員、牧内委員、中島委員、道喜委員、中村委員、加藤委員、西澤委員、宮崎委員、三浦委員、北原委員（計 20 名）